

平成28年度 日中活動支援部会全国大会 (施設長等研究会＆職員研修会) 開催要綱

テーマ

『生活介護』から『社会生活支援』へ ～あなたと私がうなづく支援を求めて～

平成27年12月14日、社会保障審議会障害者部会は「障害者総合支援法施行3年後の見直しに関する報告書」をとりまとめました。その中では、「常時介護を要する者」だけでなく、「日常的」に「支援」を要する者を含めた地域生活・地域移行が課題として取り上げられています。また、高齢障がい者の支援の在り方については介護保険との連携が検討され、重度障がい者や高齢障がい者の暮らしについても、入所施設から地域社会へと論点が移ってきてています。

そのような中、生活介護を中心とした日中活動支援は、就労支援を目指すことが困難な重度障がい者や高齢障がい者の地域生活の中心的活動の場として、「社会参加」「自己実現」「自立支援」を支えるべく、様々な支援内容の工夫を行ってきました。

そこで、今大会の1日目は、日中活動事業所の果たす役割や今後の方向性について、支援内容の評価にも触れながらディスカッションを行います。

続く2日目は、介護偏重型の支援ではなく、豊かな地域生活を展開するための具体的な活動や支援内容について、今注目される4つの視点からの実践報告を受けて、今後の支援の在り方について論議したいと思います。

なお、今年度からは、昨年度まで実施していた「日中活動支援部会施設長等研究会議」と「全国日中活動支援部会職員研修会」を一本化し、新たに「日中活動支援部会全国大会」として開催いたします。今後もこれまで議論してきた“支援の本質”からぶれることなく、より一層議論が深められる大会を目指していきますので、多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

主 催

公益財団法人
日本知的障害者福祉協会 日中活動支援部会

開催日

平成28年12月5日(月)・6日(火)

会 場

アパホテル&リゾート東京ベイ幕張(千葉市美浜区ひび野2-3)
TEL 043-296-1112

プログラム

1日目

12月5日(月)【全体会】

12:30～13:00 受付

13:00～13:40 開会式

挨拶

日本知的障害者福祉協会 副会長 菊地 達美 氏
日中活動支援部会 部会長 森下 浩明 氏

震災報告

—平成28年熊本地震から8ヶ月の現状—

紫垣 享 氏 (熊本県知的障がい者施設協会 日中活動支援部会 部会長)
平川 貞俊 氏 (熊本県知的障がい者施設協会 日中活動支援部会 副部会長)

13:40～15:10 基調講演

テーマ『社会的主体形成支援としての日中活動支援』～介護から社会生活支援～

講師：中野 敏子 氏 (明治学院大学 名誉教授)

15:10～15:25 休憩

15:25～17:00 ディスカッション

テーマ『生活介護事業の本質的役割とその評価尺度』

登壇者

大垣 純男 氏 (北海道：社会福祉法人伊達コスモス21 ふみだす 所長／日中活動支援部会委員)
村上 和子 氏 (大分県：社会福祉法人 シンフォニー 理事長／日中活動支援部会副部会長)
中野 敏子 氏 (明治学院大学 名誉教授)

司会

森下 浩明 氏 (神奈川県：社会福祉法人みなど舎 ゆう 施設長／日中活動支援部会部会長)

障害者総合支援法における運営基準第77条には、「生活介護に係る指定障害福祉サービスの事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう～～」とありますが、生活介護事業の使命や本分はどこにあるのでしょうか。生活介護事業所は、人としての欲求のベース（生理的・安全・社会的欲求）を満たし（提供し）ながら、人としての誇り（尊厳欲求・自己実現欲求）を獲得し、具体的な社会参加を支援する大切な社会資源だと考えられます。

だからこそ、私たちは今、本事業の使命と質を自ら点検する「評価尺度」を持たなければならないのではないかというのでしょうか。

このコーナーでは、生活介護の事業としての使命と、その評価尺度について大いに議論したいと思います。

17:00 終了

17:45～19:45 懇親会

※諸事情によりプログラム・登壇者を変更する場合があります。

2日目

12月6日(火)【分科会】 9:00~12:30

分科会1 それぞれの社会参加活動と自己実現

日中活動支援が果たしてきた大きな役割の一つが、「地域社会の中で、その人らしく暮らしていく」という願いに寄り添い、さまざまな「社会参加活動」に取り組んできたことです。

それは、一人ひとりの大切な「社会参加と自己実現」を図ることをテーマとしながら、「街の中で、人々の中で暮らしていく」ための社会づくりもあります。

本分科会では、そのような実践を通じ、他者（地域社会）との関係や「その人らしさ」を求めていく姿を参加者とともに共有し、これから現場実践に生かしていただければと考えています。

9:00～9:10 挨拶・趣旨説明

9:10～12:30 事例報告

報告①「多くの支援を必要とする人たちの意思決定支援と社会参加活動」

倉場 政直 氏（北海道：社会福祉法人北ひろしま福祉会 北広島ディセンター 所長）

報告②「折り紙が広げる私の世界～折り紙先生と社会をつなぐ活動の日々～」

鎌田 陽子 氏（神奈川県：社会福祉法人翔の会 第2湘南鬼瓦 主任）

報告③「自分の生活を自分で決めたい!!～本人の『声』に近づき生まれた、それぞれの日中活動～」

浅田 康義 氏（京都府：社会福祉法人世光福祉会 ベテスタの家 主任）

助言者：森下 浩明 氏（神奈川県：社会福祉法人みなと舎 ゆう 施設長／日中活動支援部会部会長）

司会：村田 修 氏（北海道：社会福祉法人静内ペテカリ 統括施設長／日中活動支援部会委員）

分科会2 様々な社会資源や多くの支援を必要としている方への支援

高い専門性と多くの社会資源を必要とする方への支援の在り方については、日々の現場実践において大きな課題の一つです。私達は、地域の中で、生活上の様々な課題や障がい特性を踏まえつつ多様なニーズがある方を支援しています。そこでは、支援者の資質向上、チーム支援、さらには他事業所や関係機関とのネットワークづくり、などによりご本人を理解していくための取り組みが必要です。「日々の実践」「様々な支援困難な人たちの人生」を共有し、私たち支援者には何が求められているのかを共に深めていきます。

9:00～9:10 挨拶・趣旨説明

9:10～12:30 事例報告

報告①「触法等社会的な問題をかかえる人たちへの支援」

松本 哲 氏（埼玉県：社会福祉法人みぬま福祉会 川口太陽の家 施設長）

報告②「重症心身障害児者への支援～本人中心の支援～」

小寺 美帆 氏（山口県：社会福祉法人じねんじょ 相談支援事業じねんじょ 管理者兼相談支援員）

報告③「行動障害のある方への支援～北摂杉の子会の実践より～」

山根 和史 氏（大阪府：社会福祉法人北摂杉の子会 萩の杜 副施設長）

助言者：山形 朝雄 氏（千葉県：社会福祉法人大成会 かしのき園 施設長／日中活動支援部会委員）

司会：原 邦人 氏（静岡県：社会福祉法人輝望会 ミルキーウェイ 施設長／日中活動支援部会委員）

分科会3 創作的活動等による利用者への作用

生活介護事業では、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ又は食事の介護だけでなく、様々な創作的活動や生産活動の機会の提供に取り組んでいます。本分科会では、この創作的活動等が利用者に対してはたらきかける「作用」や活動の意味について、事例報告をもとに議論します。

9:00～9:10 挨拶・趣旨説明

9:10～12:30 事例報告

報告①「音楽活動がもたらす心身の変化と効用」

八木 まゆみ 氏（鹿児島県：社会福祉法人しおん会 こひつじ園 施設長）

報告②「地元に密着した創作的活動」

神竹 志保 氏（広島県：社会福祉法人虹の会 ジョイジョイワークたかにし 支援統括）

報告③「演劇活動による表現の拡がりと地域交流」

松澤 賢治 氏（愛知県：社会福祉法人愛光園 障がい者活動センター愛光園 所長）

司 会：知念 隆生 氏

（沖縄県：社会福祉法人海邦福祉会 西海岸中部地域総合支援センターたかしほ 管理者／日中活動支援部会委員）

分科会4 高齢知的障害者への支援

人は誰でも加齢に伴い心身機能が低下し、疾病も増えていきますが、知的障がい者は加齢による変化が比較的早期に現れると言われています。在宅においては家族の高齢化と合わせた課題になっており日常生活上の課題も多くあります。日中活動においては、若年者との活動と一緒にできにくくなっているといった声も聞かれます。今後は今以上に支援や介護技術の向上が求められるとともに、地域社会で生活するうえで他の関係機関、医療も含めた連携も重要になっています。本分科会では、認知症のある方への関わり方として注目され始めている「ユマニチュードケア」についての講演と、2つの事例報告を通じて、望ましい支援の在り方を参加者と共有し、今後の支援に生かしていただければと考えます。

9:00～9:10 挨拶・趣旨説明

9:10～10:40 基調講演

テーマ「ユマニチュードケアについて」

講 師：戎 弘志 氏（東京福祉大学名古屋キャンパス、保育介護ビジネス名古屋専門学校 専任講師）

10:40～10:50 休憩

10:50～12:30 事例報告

報告①「高齢を迎えた障害者への支援」

徳田 芳江 氏（福島県：社会福祉法人優樹福祉会 地域生活サポートセンターきらり 管理者／日中活動支援部会委員）

報告②「母と暮らした場所から」

奥田 奈美 氏（高知県：社会福祉法人昭和会 昭光園 看護師）

助 言 者：戎 弘志 氏（東京福祉大学名古屋キャンパス、保育介護ビジネス名古屋専門学校 専任講師）

司 会：秋山 和紀 氏（石川県：社会福祉法人むつみ会 若草福祉作業所 施設長／日中活動支援部会委員）

参加対象

日中活動事業所及び関連施設・事業所等の管理者、
職員および関係者等

参加費

- ・研修会費 11,000円
- ・懇親会費 8,000円(任意参加)

定 員

700名(定員になり次第〆切)

日 程

【第1日目 12月5日(月)／全体会】

12:30	13:00	13:40	15:10	15:25	17:00	17:45	19:45
受付	開会式	基調講演	休憩	ディスカッション	移動	懇親会	

【第2日目 12月6日(火)／分科会】

9:00	12:30
分科会 1：テーマ「それぞれの社会参加活動と自己実現」	
分科会 2：テーマ「様々な社会資源や多くの支援を必要としている方への支援」	
分科会 3：テーマ「創作的活動等による利用者への作用」	
分科会 4：テーマ「高齢知的障害者への支援」	

JR海浜幕張駅から東京ベイ幕張ホールへのご案内



アクセス

« 東京方面より »

- 東京駅から JR 京葉線快速電車で海浜幕張駅まで 30 分
海浜幕張駅（南口）から徒歩 5 分
- 秋葉原駅から JR 総武線で幕張本郷駅まで 38 分
- 京成上野駅から京成線特急で津田沼駅のりかえで幕張本郷まで 37 分
- 幕張本郷駅から幕張メッセおよび QVC マリンフィールド行きバスで 15 分、「メッセ東口」バス停下車

« 千葉方面より »

- 千葉駅から JR 内房線・外房線で蘇我駅のりかえ
JR 京葉線で海浜幕張駅まで 20 分
海浜幕張駅（南口）から徒歩 5 分

大会内容に関するお問合わせ(大会事務局)

日本知的障害者福祉協会事務局 日中活動支援部会担当(古屋(誠)・山本・三浦)
〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル6階
TEL : 03-3438-0466 FAX : 03-3431-1803

大会申込・宿泊に関するお問合わせ

日本旅行東京法人・コンベンション営業部(担当:田村・末益)
〒160-0017 東京都新宿区左門町16-1 四谷TNビル4階
TEL : 03-5369-3921 FAX : 03-3225-1008